

大学生におけるスクールカウンセラー活動に 対する認識と関わりの深さの関連

○大谷桃子¹・井金築優²・榎木宏之¹

(¹広島国際大学大学院心理科学研究科, ²法政大学現代福祉学部)

問題

2020年に実施された学校保健統計調査によると、全国の約9割の小・中・高等学校にスクールカウンセラー（以下、SCと略記）が配置され、全校配置が進んでいる。しかし、同時にSC活用上の課題として、「広報周知」が以前より指摘されており（堀尾, 2012）、SCの有効活用の基盤作りとして、まずは学校内で、SCの存在、役割を教員、生徒、保護者に広く知ってもらうことが求められる。石原（2012）の調査によると、SCがいたと考えられる公立中学校においてSCがいたと認識している割合は63%であるとされているが、近年の認識の程度については検証されていない。

そこで本研究では、中高生のSC活動に対する認識を調査することで現状の把握を試みる。なお、本研究における「SC活動への認識」とは、生徒がSCをどのように捉えているか、SCに対してどのようなイメージを持っているかを意味し、「SC活動の性質 (Who, What)」「SC活動の内容 (How)」「SCが活躍する場面 (When, Where)」の3つに分けて考える。

目的

本研究では大学生が中高生時代にSC活動をどのように捉えていたか、その認識にSCとの関わりの深さによる差がみられるか明らかにすることを目的とする。

方法

調査対象 大学生 80名

うち、中高時代のどちらかにおいて「SCに相談した」「SCと雑談した」と回答した30名を「関わりの深い群」、それ以外の回答をした50名を「関わりの浅い群」とした。

調査内容 石原（2012）にて用いられた質問紙を参考に作成。中高時代それぞれにおけるSCの有無や来校頻度、関わりの深さ、「SC活動の性質」「SC活動の内容」「SCが活躍する場面」の認識等について5件法にて調査した。

解析方法 「SC活動の性質」に対する認識について全21項目に対して因子分析(最尤法, プロマ

ックス回転)を行い、因子負荷量が0.35以下であった5項目を除いて再度因子分析を行った。その後、「SC活動の性質」の4因子について関わりの深浅とのt検定を、「SC活動の内容」「SCが活躍する場面」について関わりの深浅との二要因混合分散分析を行った。

分析ソフトにHAD17_102(清水, 2016)を用いた。

結果と考察

「SC活動の性質」について因子分析を行った結果、「保護」「独自性」「生徒の内的変化」「間接的支援」の4因子で構成されることが示唆された(表1)。この4因子について関わりの深浅とのt検定を行ったが、有意な差は見られなかった。

また、「SC活動の内容」「SCが活躍する場面」について関わりの深浅との二要因分散分析の結果、各項目について有意な差がみられることが示された($p < .01$)一方、関わりの深浅や交互作用について有意な差は見られなかった。「SC活動の内容」については、項目「校内を歩いて生徒に話しかける」の得点その他の項目の得点と比べて有意に低いことも明らかになった($p < .01$)。

以上のことから、関わりの深浅による認識の差は見られなかったが、認識についてばらつきがあり、特に校内巡回の認知度が低いことが推察される。

表1. SC活動の性質に対する認識の因子分析結果

	因子負荷量			
第1因子「保護」 (α係数 0.74)				
SCは生徒の味方になってくれる	.93	-.20	.08	.08
SCは生徒のことを大切にしてくれる	.83	.05	.05	-.02
SCは秘密を守ってくれる	.36	.14	-.12	.15
第2因子「独自性」 (α係数 0.74)				
SCと会ったり話したりすると楽になる	.00	.76	-.10	-.11
先生に相談できないことも、SCなら相談できることがある	.36	.69	-.22	.00
SCは学校にいるので生徒が相談しやすい	-.46	.59	.09	.18
SCと話すとき焦らないでよいと思える	.16	.50	.16	-.05
SCは信頼できる大人である	.13	.40	.05	.21
第3因子「生徒の内的変化」 (α係数 0.78)				
SCと話すとき自分で自分を認められるようになる	-.22	-.04	.85	.06
SCは対等に話してくれる	.04	.02	.57	-.17
SCは気持ちをよくわかってくれる	.14	.32	.54	-.11
SCはすぐに答えをくれる	.17	-.24	.43	.08
SCと話すとき勇気づけられる	.27	.18	.41	.03
SCと話すとき将来に希望が持てる	.10	-.02	.40	.26
第4因子「間接的支援」 (α係数 0.83)				
保護者がSCに相談すると問題が改善する	.07	.03	-.10	.98
先生がSCに相談すると問題が改善する	.07	-.04	.07	.68

※質問紙には、「SC」ではなく「スクールカウンセラー」と表記した